

ほんごう一彦 県政報告

総務企画警察委員会質疑要旨(令和4年12月12日)

本年中の人身安全 関連事案への対応 状況について



【本郷委員】

県警におかれましては、本年も小山本部長の指揮の下、交通事故防止や各種事件検挙等において精力的に活動され、県民の安全安心な生活の維持に貢献されたことに敬意を表する。

県警では、今年1年、令和4年長野県警察の運営重点と対策に基づいて、各種活動を推進されたものと承知しており、この運営重点と対策は、大きく分けて7項目等で構成されている。その全てをここで触れる時間はないので、一つの項目である総合的な犯罪防止対策の推進につき、本年の活動

状況等について質問したい。この項目では、主に生活安全警察部門の運営重点等が示されていると思うが、人身の安全の確保及び子供・女性を守るための取組の推進について、先ほどの本部長の概況説明によれば、本年10月末現在のストーカー、DV、児童虐待の数は、いずれも前年より減少しているとのこと、県警の取組の成果が現れていると思う。

そこで、本年中の人身安全関連事案への対応状況について、人身安全・少年課長に伺いたい。

【羽田田生活安全全部参事官兼地域部参事官、刑事部参事官兼人身安全・少年課長】

この種の事案は、認知段階では、その危険性や切迫性を正確に把握することが困難である一方、事態が急展開して重大事件に発展するおそれが極めて高いものと認識している。こうした観点から、事案を認知した際には、全県警察署長及び本部担当課に速報をさせた上で、被害者等を速やかに安全な場所へ避難させるなど、その安全確保を最優先とした対応を取るとともに、事態の急展開等を防止するため、事案に応じ、暴

行傷害罪等で検挙するなど、迅速かつ組織的な対応に努めている。

また、女性相談センター、児童相談所、市町村等の関係機関と緊密に連携するとともに、被害者等の状況に変化がないか、定期的に経過確認を行うなど、事案の内容に応じた1件1件丁寧な対応に努めている。

犯罪防止対策の 推進状況について

【本郷委員】

次に、特殊詐欺対策をはじめとした効果的な犯罪防止対策の推進について、今年度は、特別詐欺の名称を県警独自で電話でお金詐欺に変更するなど、工夫を凝らした取組を推進してきたものと承知しているが、概況説明によれば、認知件数も被害額も前年より増加している現状にある。

そこで、本年中の電話でお金詐欺や、その他犯罪防止対策の推進状況について、生活安全企画課長に伺いたい。

【原生活安全全部首席参事官兼生活安全企画課長】

電話でお金詐欺の防止対策では、その大半が、電

話が連絡手段として使われている状況を踏まえ、本年4月1日から、啓発効果の高い電話でお金詐欺の名称を広報活動に用いることとした。

そのほか、常時留守番電話の設定等、主に高齢者の方が犯人からの電話を受けないための対策、それからコンビニエンスストアや金融機関等と連携した、だまされても周囲が阻止する水際対策を推進している。

サイバー犯罪対策の 推進状況について

【本郷委員】

次に、総合的なサイバー犯罪対策の推進について、スマートフォンなどの普及により、今や子供から高齢者まで誰もがインターネット空間に接して生活をしている中で、サイバー犯罪の被害に遭うおそれが非常に危惧される。

サイバー犯罪対策は、今後ますます県警においても重要性を増すものとして認識している。そこで、本年中のサイバー犯罪対策の推進状況について、サイバー犯罪捜査課長に伺いたい。

【布施谷サイバー犯罪捜査課長】

この対策においては、事件検挙と防犯対策の両面から取り組んでいるところであり、事件検挙では、高度な情報技術を悪用して組織的に取行される犯罪を、重点的に取組を推進し、10月末現在、暫定値で111件を検挙している。

防止対策では、各種広報媒体を通じて、犯罪の発生や犯行手口等の情報を迅速に発信し、注意喚起を図ったほか、サイバー事案の潜在化を防止し、被害に関する警察への通報、相談を促進するため、民間事業者と連携協定を締結するとともに、県民のサイバーセキュリティ意識を向上するため、幅広い年齢層に対する啓発活動を実施している。

【本郷委員】

サイバーの問題は、SNSやITの今日の状況においても、安全保障の観点からも、サイバーによつてのアプローチが非常に各分野でもプラスとマイナスの部分が出てくるので、なお一層、御努力をお願いしたい。